

# 仕 様 書

## 1. 事業名

平成30年度未指定仏像実態把握調査事業

## 2. 目的

本県に所在する国・県の文化財指定を受けていない仏像の中から、学術上及び本県の歴史や文化を理解するうえで重要と思われる物件を選定し、現地における実態調査を行い、指定候補物件の充実を図るとともに、(仮称)奈良県国際芸術家村における要修理事物候補の基礎資料とする。

## 3. 概要

<全体計画>

- ①県が提示する調査候補リストを参考に、調査対象物件を選定する。
- ②調査票の様式を作成する。
- ③現地における実態把握調査を行い、以下のデータを収集する。
  - ・写真(正・側・斜側・背の各面および頭部、像底、その他彩色文様等、特徴的な細部)
  - ・調書(形状、品質・構造、修補・損傷、法量、銘記、伝来等、その他保存措置のための情報<損傷度・修理の緊急性・保存環境・所有者の意思、体制等>)
- ④収集したデータを調査票に入力する。
- ⑤各物件について作品評価を伴う解説を付したレポートを作成する
- ⑥調査報告書を刊行する。

<平成30年度>

30件の物件を対象に①～⑤の作業を行う

## 4. 事業期間

<全体計画>

平成28年度～平成32年度

<平成30年度>

契約日から平成30年3月29日まで

## 5. 成果物

<全体計画>

- ①調書
- ②入力済みの調査票(出力プリントおよびデータ)

③写真（出力プリントおよびデータ）

④レポート（作品解説）

⑤調査報告書（300部）

<平成30年度>

30件の物件を対象に①～④を収める

## 6. 応募条件

①過去に国または地方公共団体主体の「仏像」に関する現地調査を行った実績があり、「調査責任者」として、「仏像」を専門とする教員または研究者がいること。（正規に限る）

②「調査員」として、「仏像」を専門に学んだ大学院修士以上もしくは同等の研究歴を有するものを調査期間全般にわたり2名以上確保できること。（非正規でも可）